



野底小学校だより
令和7年11月

野小っ子



[連絡先]
住所: 石垣市字野底138番地
TEL: 0980-89-2144
FAX: 0980-89-2079
Email: nosoko-s@ishigaki.ed.jp



「ありがとう」を『行動』で表してみよう!

・ありがとう!



11月は、「ありがとう」を『行動』に移す月間にしたいと思います。

現代社会では、何でも当たり前になりがちですが、私達は誰かに支えられて生きています。この必要性に気づき、感謝を言葉や行動で伝える練習をすることが、子供たちの共感性や社会性を育む上で非常に大切です。

また、感謝の表現が人間関係の「絆」を深める土台になる点で重要だと考えています。相手の好意に気づき「ありがとう」と伝えたり、困っている人に「大丈夫?」「手伝う?」と声をかけたりする行動は、自分自身にも自己肯定感と心の安定をもたらします。

では、「ありがとう」を『行動』に移すとは、どんなことが考えられるでしょうか。まずは、相手にやってもらったことに対して「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えることがあります。次に、ご飯を作ってくれた人に、「ごちそうさま」「おいしかったよ」と言いながら、食器を片付けること、お家の人が忙しそうにしていたら、「何かお手伝いすることはない?」と聞いて、お皿を洗ったり、洗濯物をたたんだりすることで、いつも家で頑張ってくれることへの感謝を、お手伝いの行動で表すこともできます。人だけでなくモノへの感謝の気持ちを表すこともできます。鉛筆や消しゴム、机を大事に使う。教科書や図書館の本を破れないように、丁寧に使うことで、それを作ってくれた人や、準備してくれた方への感謝を、大切に使う行動で示すこともできます。「ありがとう」は、口で言うだけでなく、行動にすると、自分も周りの人も温かい気持ちになり、みんなのまわりが優しさでいっぱいになります。ぜひ、お子さんと一緒に、周りの人や物への感謝を見つけ、伝え合う時間を大切にしてください。

「読書の秋」の取り組み

「読書の秋」、保護者の皆様による読み聞かせも引き続き行われています。読まれる方々の個性で語られる物語に、子供たちは身を乗り出したり、目を輝かせたりしながら聞き入っています。子供たち一人一人が思い描く場面が表情にも表れ、本の世界に入り込んでいるのが見て取れます。

保護者の皆様には、お忙しい中、ご協力いただき感謝申し上げます。読み聞かせは、子供たちの読書への興味を深める貴重な機会となっています。ぜひ、ご家庭でも、本を開く楽しさを分かち合い、豊かな読書の時間を過ごしましょう。



11月 の行事

- 2日(日) 3日(月) 文化の日
- 4日(火) トントンミー学習月間(～29日)
- 5日(水) 児童朝会 委員会
午前授業 12:45下校
- 7日(金) 人権を考える日
- 11日(火) 読み聞かせ
- 12日(水) 読書エンディング集会
- 13日(木) 県学力到達度調査5・6年
(～12/11)
- 19日(水) 校内研究: 研究授業3・4年生
3・4年生以外、4校時授業
- 21日(金) 感謝集会
- 23日(日) 勤労感謝の日
- 24日(月) 振替休日
- 26日(水) 児童鑑賞会 クラブ
- 27日(木) 学習発表会準備
- 28日(金) 午前授業 13:00下校
- 29日(土) 学習発表会
- 12月1日(月) 振替休日
- 2日(火) 人権を考える日
火災避難訓練(2校時)

【10月の野底っ子の学びの様子】

本校では、子供たちが「自立した学習者」となるよう研究に取り組んでいます。その検証のための研究授業が10月22日に1・2年生を対象に行われました。学校では、研究授業や授業研究会後、招へいした指導主事から助言をいただくことで、研究の取り組みや授業改善を行い、先生方の資質・能力向上に努めています。

今回の授業は、生活科「めざせ野さい作り名人」。トウモロコシが何らかの理由で枯れてしまったことで、その理由を考えながら再度トウモロコシ栽培に挑戦。どうすれば枯れずに成功するのか、アサガオ栽培(これまでの経験)を振り返りながら、栽培方法について話し合う授業が行われました。一人一人が自分の意見をもち、話し合いに反映させていました。個々の「らしさ」が輝き、今後の取り組みが楽しみになりました。今後、子供たちが質問した際には、保護者、地域の方々アドバイスをよろしくお願ひします。

集合学習：北部地区3小学校児童が交流

10月31日(金) 北部3小学校(明石・伊野田・野底)の今年度2回目の集合学習が行われました。

1・2年生は、バンナ公園にて秋の自然観察や木の実や葉っぱを集め秋の自然を楽しみました。3年生は、チームで作戦を立てながらサッカーを通して交流を深めました。また、4年生は、講師に新盛春美さんをお招きし、心と体の大事な話をしていただきました。5・6年生は、道徳で「誠実さ」について考え、意見を交わし、普段より多様な考えに触れることができました。この日は、多くのお友だちが集まり、違う考え方や意見を交流し新たな刺激を受け、社会性を育む事につながりました。ご家庭でもお子さんから話を聞いてみてください。

「海のかかし作戦」の提案と検討

10月8日(水)に現在、総合的な学習の時間で取り組んでいるウミショウブ守るために「海のかかし作戦」の実現に向けた検討会議が本校多目的教室で開かれ、子供たちから出されたユニークで創造性あふれるアイデアの具体化について話し合いを行いました。この作戦は、ウミショウブの群生場所へのウミガメの接近を防ぐための「海のかかし」を制作することを目的としています。

話し合いでは、大きなサメの模型を波や風の力で動かし、ウミガメを驚かせる案が出ました。ウミガメが見やすいとされる青・緑・白色で塗装し、より本物らしく見せるための改造や、長い竹で海中に吊るす方法など、最も実現性の高い案として複数体の制作が検討されました。その他にも、アオウミガメが嫌う音を水中スピーカーで流す案や、CDの反射光を利用してウミガメを遠ざける案、ウミガメが見やすい青や緑色の風車を海中に設置し、潮の流れで回転させる案など、子供たちの自由な発想が光るアイデアが多く提案され、実現可能かも含めて検討しました。制作にあたっては、「子供たちの自由な発想を尊重し、実現可能なものから試作する」という基本方針が確認されました。素材の選定においては、環境への配慮が最優先とされ、木材や流木など自然に還る素材を基本とします。

試作開始に向け、子供たちの期待と意欲が高まっています。

これらの学習は、保護者、地域の皆さんのご理解とご協力があり進めることができます。引き続き子供たちの学びへの応援よろしくお願ひします。



それぞれで考えた案を発表する子供たち



いつもお世話になっている大堀さんや、カカシ制作のアドバイスを受けるために田中さんに相談にのっていました。